

第1回ひらつか中学リレー競技会大会要項

- 1 主催 平塚市陸上競技協会
- 2 主管 神奈川県中学校体育連盟陸上競技専門部
- 3 日程 2020年3月15(日)
- 4 会場 Shonan BMW スタジアム平塚
- 5 競技種目 男子 4×100mR、4×800mR
女子 4×100mR、4×800mR

6 競技順序(案)

種目	競技 予定時刻	オーダー用紙提出 開始時刻	縮切時刻
女子 4×100mR A	9:00	7:00	8:00
男子 4×100mR A	10:00	8:00	9:00
女子 4×800mR	11:00	9:00	10:00
男子 4×800mR	11:45	9:45	10:45
女子 4×100mR B	13:00	11:00	12:00
男子 4×100mR B	14:00	12:00	13:00

*参加チーム数によって変更します。

- 7 2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規約に準じて行う。
- 8 参加資格・参加制限
 - ① 2019年度日本陸連登録者の中学校1,2年生に限る。
 - ② 参加校顧問(及び職員)が引率し、競技役員を行うこと。
 - ③ 4×100mRのA区分は各校男女各1チームのみ出場を認める。
 - ④ 4×100mRのB区分は、複数チームの出場を認める。
 - ⑤ 4×800mRは、最大各校男女各2チームの出場を認める。
 - ⑥ 他種目や他区分と兼ねて出場することができる。ただし、同種目、同区分の中では、兼ねて出場することはできない。
- 9 参加費 1チーム1種目 600円
- 10 申込み エクセルファイルにチーム登録、顧問名、弁当数、名簿を入力する。
また、名簿はエクセルファイルの別シートに入力してください。

- 申込用エクセルファイルを**2月28日(金)までに提出する。**
 - ・申し込み先 下記申し込み先(各地区専門委員もしくは担当者)
 - ・メールで申込する場合の件名を「リレー申込(〇〇中)」とすること。
 - ・各地区申し込みまとめ担当者は参加校のファイルをまとめて、
3月2日(月)までに平塚市立浜岳中学校 小原大祐宛に提出する。
 - ・電子メールアドレス：obara.daisuke@ma.hiratsuka-kng.ed.jp
- 参加料は事前に地区でまとめ、大会当日に地区代表者が受付で支払う。

各校申し込み

- ・20地区専門委員または、各地区申込担当者に、申込データと大会参加料を期日までに申し込むこと。

11 注 意

- ① ナンバーカードは、県指定の学校番号を使用すること。大きさは、B5版とし数字の高さ12cm以上、幅5cm以上で太く書き、飾り文字は使わないこと。男子は黒字。女子は赤字とする。
- ② ユニフォームはできるだけ同一とする。少なくとも同系色のユニフォームを着用すること。
- ③ スタートはイングリッシュコマンドで行い（『on your mark』『set』）1回目の不正スタートで失格とする。
- ④ 2019年度日本陸上競技連盟競技規則第162条5「スタートにおける警告」に関する2018年度改正ルールは適用せず注意にとどめる。
- ⑤ 主催者の責によらない事由（悪天候・警報・事件等）で大会が中止になった場合、参加費の返金は行わない。

12 その他

- ① 参加校顧問（及び職員）の先生方、全員で競技役員を行う。（申込で先生方の名前を確認，審判部で役割分担し，打ち合わせで決定）
- ② 役員の方には、有料で昼食を用意する。各校必要数を申込ファイルに入力すること。
- ③ オーダー用紙に個人番号（県学校番号＋2桁）を使用するので、選手に周知しておくこと。
- ④ **AM 7：00以前は会場前で並ばないこと。**
- ⑤ 競技順序、注意事項、練習要項、競技場配置図、日程等は一部変更する場合があります。変更がある場合には、朝の全体打合せで最終確認を行う。

13 主な日程（案）

7：00	整列開始
7：15	本部打合せ
7：30	競技場開場
7：40～	競技場準備開始（平塚市）コーン、スタブロ、机、イス、テント
7：45	練習場係配置
8：00	練習開始
8：00	全体打合せ（競技役員・参加校顧問）
8：50	練習終了
9：00	競技開始
10：30	弁当搬入（業者から受け取り）
12：30頃	弁当配布（各自取りに行く）
13：00	午後の競技開始
15：00	競技終了・後方付け
15：15	全体打合せ（競技役員・参加校顧問）
15：45	本部打合せ
16：00	競技場閉場

問い合わせ先

平塚市陸上競技協会

ひらつか中学リレー競技会担当 小原 大祐

電話 0463-31-0479（浜岳中学校内）

《申込まとめをする先生方へ》

- ・ 普段の県大会の様にファイルをコピー・ペーストしていただかなくて結構です。
- ・ 各校の申し込みに不備がないか確認していただき、不備があった場合のみ各校へ訂正をお願いしてください。
- ・ 全校の Excel ファイルを浜岳中・小原宛にまとめてお送りください。
尚、Excel ファイル名に必ず学校名が入っていることを、ご確認ください。
- ・ 参加費については、事前に各地区でまとめていただき、地区代表者が当日朝支払いをお願いします。
- ・ 正式なタイムテーブル、番組編成は中体連陸上専門部ホームページ等でお知らせします。
- ・ 初めての開催になりますので、直前で色々なお願いが出てくるかと思えます。
臨機応変にご対応いただけると助かります。

ひらつか中学リレー競技会担当 小原 大祐

2019年度日本陸上競技連盟競技規則（抜粋）

第3部 トラック競技 第170条 リレー競走

1. 4 × 100m, 4 × 200m, 100m-200m-300m-400m (メドレーリレー), 4 × 400m, 4 × 800m, 1200m-400m-800m-1600m (ディスタンスメドレーリレー)、4 × 1500m が標準の距離である。
6. (a) 競技場で行われるリレー競技ではバトンを使用しなければならない、バトンは競技中手でもち運ばなければならない。
(c) もしバトンを落した場合、落とされた競技者がバトンを拾って継続しなければならない。この場合、競技者は距離が短くならないことを条件にバトンを拾うために自分のレーンから離れてもよい。加えて、そのような状況でバトンを落としたとき、バトンが横や進行方向（フィニッシュラインの先も含む）に転がり、拾い上げた後、競技者はバトンを落とした地点に戻ってレースを再開しなければならない。上記の手続きが適正になされ、他の競技者を妨害しない限りは、バトンを落としても失格とはならない。競技者がこの規則に従わなければ、そのチームは失格となる。
7. バトンは、テイク・オーバー・ゾーン内で受け渡されなければならない。バトンのパスは、受け取る競技者にバトンが触れた時点で始まり、受け取る競技者の手の中に完全に渡り、唯一のバトン保持者となった瞬間に成立する。それはあくまでもテイク・オーバー・ゾーン内でのバトンの位置のみが決定的なものであり、競技者の身体的位置ではない。競技者がこの規則に従わなければ、そのチームは失格となる。
8. バトンを受取る競技者が唯一のバトン保持者となる瞬間まで、バトンを渡す競技者に対して第163条3が適用される。受渡しの後は、バトンを受取った競技者に対して適用される。バトンを受ける前または渡した後、競技者は他の競技者への妨害を避けるため、走路が空くまで自分のレーンまたはその位置（ゾーン）にとどまるべきである。第163条3、第163条4は適用されない。但し、自分のレーンの外を走ったり、外で立ち止まったりすることによって、バトンを渡し終えた競技者が、自分の位置やレーンの外を走ることによって故意に他のチームの競技者を妨害したときは、第163条2が適用される。
9. レース中、競技者が他チームのバトンを使ったり拾い上げた場合、そのチームは失格となる。相手チームは、有利にならない限り失格とはならない。
16. 4 × 800m リレーでは、以下のいずれかの方法で走ることができる。
 - (a) 第1走者は第163条5で述べたブレイクラインの手前端までレーンで走り、その後レーンを離れることができる（レーンで一つの曲走路を走る）。
 - (b) レーンを用いない。
20. (前略) 審判員の指示に従い、前走者が第2曲走路入り口を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、待機している走者は、この順序を維持しなくてはならず、バトンを受け取るまで入れ替わることは認められない。違反した場合は、そのチームを失格とする。
21. (前略) どのリレー競走においても、レーンが使用されていない場合は、次走者は、他の走者の進行をじゃまするために妨害したり押しのけたりしないならば、走って来るチーム走者が近づくにつれてトラックの内側に移動できる。

競技注意事項

1. 受付時間 7時30分開門から8時00分までに受付を済ませること。
2. 2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
3. 競技者の変更は一切認めない。プログラムの誤記訂正は8時30分までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届け出る。

<オーダー用紙・招集について>

4. リレーのオーダー用紙は、競技開始2時間前から1時間前までに招集所へ提出する。
また、競技者はスタート20分前までに、各スタート地点に集合する。
5. 招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
6. 招集は本人が行う。この時ナンバーカードとスパイクの確認を行う。
(ピンの長さは9mm以下。)

<ナンバーカード、腰ナンバーカードについて他>

7. ナンバーカードは、県指定の学校番号を使用する。
(特別ナンバーカードを使用する場合がある。1枚の場合は胸につける。)
8. ナンバーカードは、胸、背に確実にとめる。
白のB5版の大きさの布に、男子は黒字、女子は赤字で記入する。
文字の高さは12cm、幅5cm以上とし、飾り文字は使用しない。
9. リレーのアンカーは招集所で受け取った腰ナンバーを右腰につける。

<応援について>

10. 応援については以下の事項を厳守する。
 - ・ 応援・付き添いはフィールド内や競技場内には入ってはならない。
 - ・ スタート時の応援は禁止する。
 - ・ 応援席最前列の手すり付近に立っての応援は禁止する。
 - ・ 応援横幕はサイドスタンドのみに設置してよい。また、のぼり設置は禁止する。

<競技場使用について>

11. 練習は本競技場及び雨天走路を使用する。公園内園路はウォーク、ジョグにとどめる。
また、競技者以外の練習は認めない。
12. 競技者は指示された場所・通路を使用し、フィールド内や立ち入り禁止区域には絶対に入らない。また、スパイクでスタンドに上がってはならない。
13. 競技者の控え場所は、スタンドを利用し、所持品は各校で管理する。更衣室は更衣のみに使用する。尚、スタンドにはスパイクで上がってはならない。
14. 本部前は、レース後スパイクを履いている時のみ、速やかに通行することを認める。

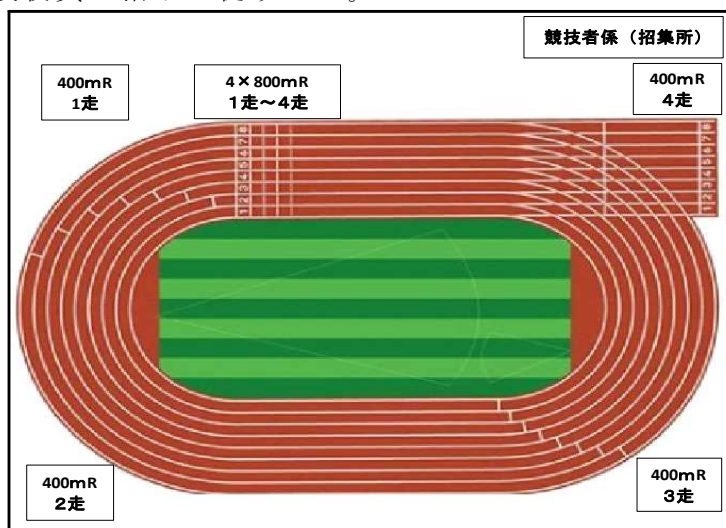
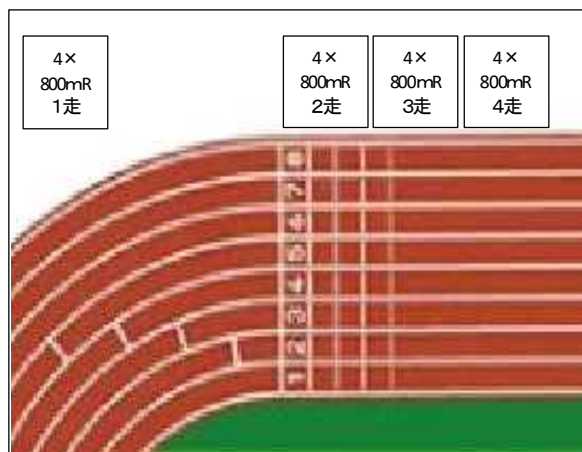
<スタートについて>

15. スタート合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。
16. 2019年度日本陸上競技連盟競技規則第162条5「スタートにおける警告」に関する改正ルールは適用せず注意にとどめる。

<その他>

17. 注意事項以外の内容についても、競技役員の指示に従うこと。

4×800Mリレーの最終招集場所（走順ごとに集合）



4 × 8 0 0 m リレーについてルールとマナー

《ルール》

1. 800 m のセパレートレーンのスタート位置からスタートを行う。原則、1レーンに2人の選手が入る。
2. 第一走者は、第1曲走路の終わりにマークされたブレイクラインの、スタート側により近い端まで自分のレーンを走る。競技者はこのブレイクラインから自分のレーンを離れることが許される。
3. 次の走者は、フィニッシュライン10 m 手前にある、テイクオーバーゾーン入口に並んで待つ。並び順は、前走者が第2曲走路入り口を通過した順序とする。(以下、規則170条20を参照)
4. バトンパスは、フィニッシュライン10 m 後方にある、テイクオーバーゾーン出口までに完了させなければならない。(以下、規則170条7を参照)
5. 次走者は、他の走者の進行を妨害したり押しのけたりしないならば、走って来るチーム走者が近づくとつれてトラックの内側に移動できる。(以下、規則170条21を参照)

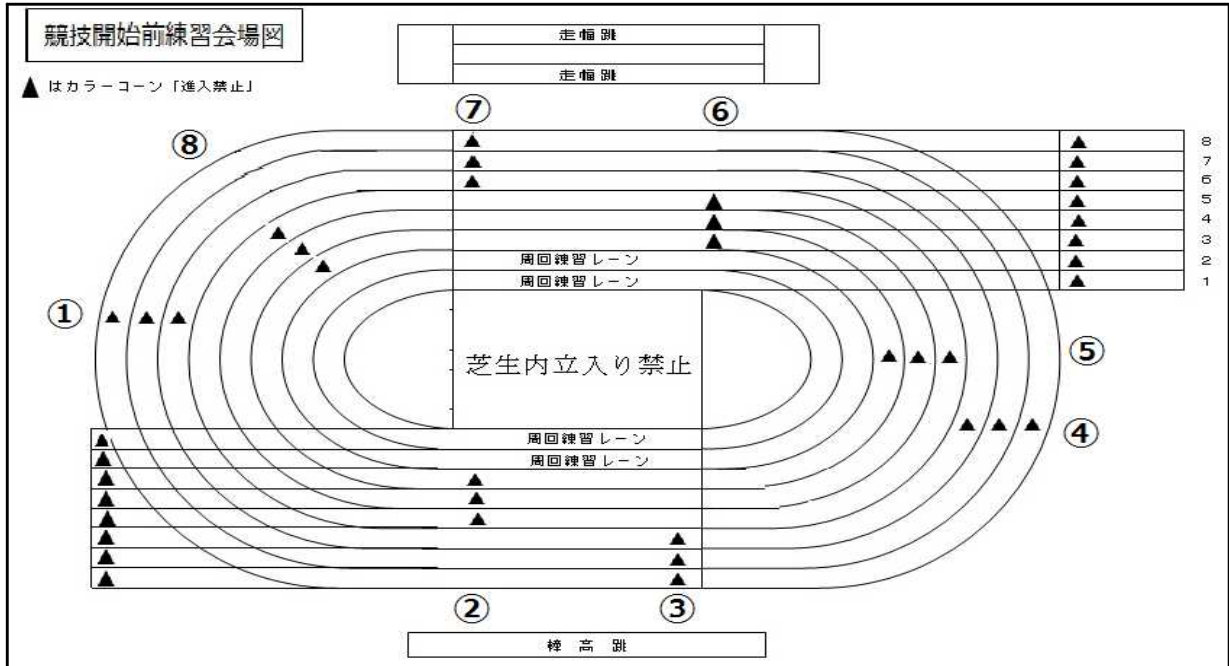
《申し合わせ事項・マナー》

1. 走り終わった競技者は、後続の競技者の進行を妨害しないように、速やかにレーン外に出るのが望ましい。その時、後方をよく見て内側、外側どちらに移動すればよいか確認すること。また、内側、外側どちらにも安全に移動できない場合は、後続の選手が通り過ぎるまでその場にとどまる。
2. 周回遅れが生じた場合、テイクオーバーゾーンでは、バトンパスを行わないチームに内側のレーンを譲り、バトンパスを行うチームは外側のレーンを使用すること。
3. テイクオーバーゾーンやフィニッシュライン付近で立ち止まったり、倒れこむことは大変危険なので、絶対にしないこと。

練習要項

【競技開始前】

- ・ 1～2走のバトンパス練習は、6～8レーンを使用する。(①～②)
- ・ 2～3走のバトンパス練習は、3～5レーンを使用する。(②～⑤)
- ・ 3～4走のバトンパス練習は、6～8レーンを使用する。(④～⑥⑦)
- ・ 4×800mRのバトンパス練習は、3～5レーンを使用する。(⑥～⑧)



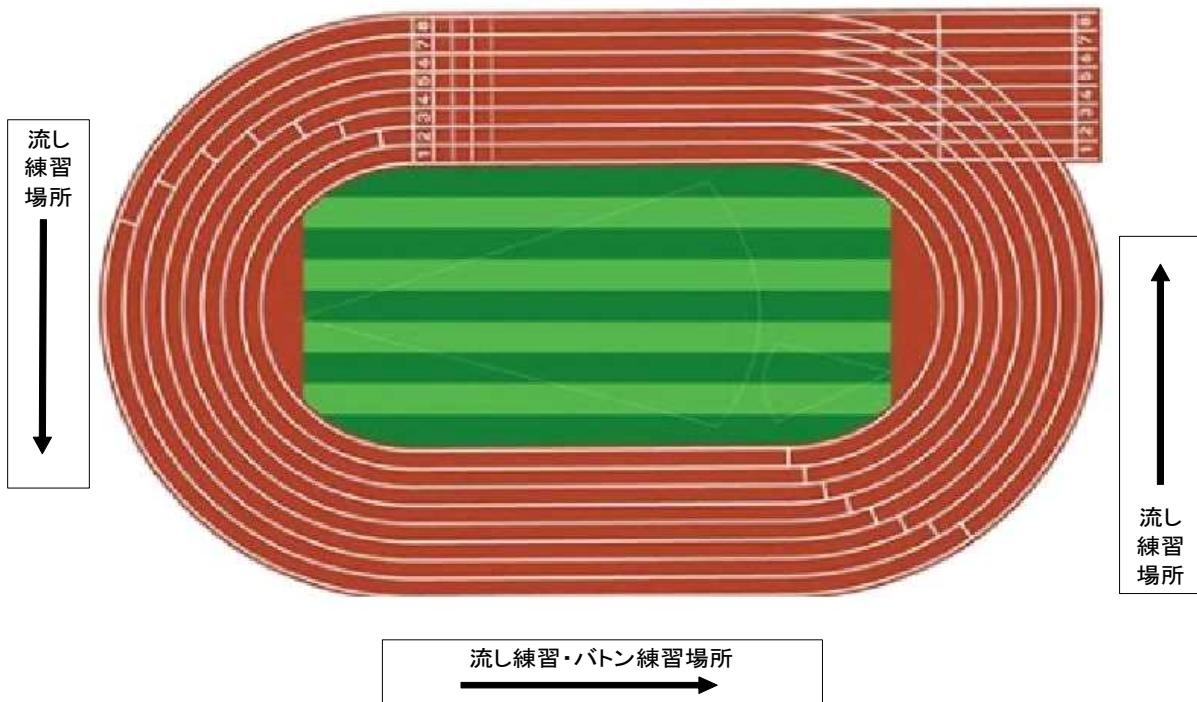
【競技開始後】

- ・ スタート直前は、練習を中断して動きを止めること。
- ・ 練習は、コーンで仕切られた範囲内で行うこと。
- ・ 走る方向は、図の矢印の一方方向とする。逆走しないこと。
- ・ バトンパスの練習はしないこと。

雨天走路(バトン練習禁止)

←

競技開始後の練習会場図



【雨天走路・公園内園路】

- ・ 雨天走路での練習は流しのみ。バトンパス練習やジョグ・ウォークは禁止とする。
- ・ 園路での練習は原則禁止とする。ただし、順路に従ってのジョグ・ウォークは認める。

審判役割確認表（写真計時）

審判名	主な分担内容
総務 進行・	① 競技会運営・企画 ② 打合せ司会・説明 ③ 競技進行 ④ その他
アナウンス	① 競技アナウンス ② 競技結果のアナウンス
競技者	① オーダー用紙の受付。入力。 ② 特別ナンバーカード、腰ナンバーを渡す。 ③ ロールコールの配布。
招集・出発 (トランシーバー 4台)	① 最終コール（招集） ② 総務・進行に報告「○走、○組、○○中来ていません。等」 ③ 選手をレーンに入れる。（監察と協力して） ④ 両りレーとも1～4走まで担当を決める。 【4×100m Rの時】 ① スタート後、1～3レーンのスターティングブロックを外す。 ② フィニッシュ後、1～3レーンのスターティングブロックをつける。 ③ スタートラインに手がかかっているか確認。 【4×800m Rの時】 ① ナンバーカード確認。 ② スタート前、レーン順にイスに座って待たせる。
監察 (トランシーバー 4台)	① バトンパスの確認。 ② 黄旗対応 ③ 総務・進行に報告「○走、○レーン、例○mオーバーして渡しました。等」 ④ レーンを走っているか確認。 ⑤ 選手をレーンに入れる。（出発と協力して） ⑥ 選手がレーンに入ったら、総務・進行に報告。「○走準備完了」 ⑦ 走り終わった走者に、テープを剥がさせる。 * 4×800m Rのブレイクマーカーの設置・撤去
決勝審判 周回 (トランシーバー 2台)	【4×100m Rの時】 ① 着順を確認し、写真判定へ連絡する。 【4×800m Rの時】 ① 周回表示を行い、ラスト1周で鐘を鳴らす。 ② 周回遅れが出た場合は、3レーンより外側にゴールするように促す。 ③ 着順を確認し、写真判定へ連絡する。 ④ バトンパスの時、内側が空いたら内側につめるように促す。 ⑤ 走り終わった選手をレーン外に誘導する。
スターター リコーラー (シブー2台)	① スタート合図を行う。 ② 不正スタート等について、リコールを行い、該当チームへ指示等を与える。
計時 (トランシーバー 2台)	【4×100m Rの時】 ① 1人1チーム、決められたレーンの記録をとる。 【4×800m Rの時】 ① プリンター付きストップウォッチを使い、2～3名で記録をとる。
写真判定 (シブー2台)	① 全レース、全選手の記録を測る。 ② 着順は、決勝審判と確認する。
記録 (トランシーバー 2台)	① 静岡陸協記録システム（上陸）を使用して情報を処理する。 ② 審判長、アナウンス、掲示板に情報を伝える。 ③ ロールコール、走順の確認。
練習場 (トランシーバー 3台)	① 競技場内の練習場所に立ち、安全確認を行う。 ② 練習場所で、逆走したり、立ち止まらない様、注意する。 ③ スタート時は、練習を止め、動きを止めさせる。 * 打合せ後からお願いします。
ゴール タイマー (シブー1)	① スタート前の0テスト。「0.00」を確認。 ② フィニッシュ時にビームストップ等で、記録を表示する。 ③ 適宜、400mごとのラップを表示する。